



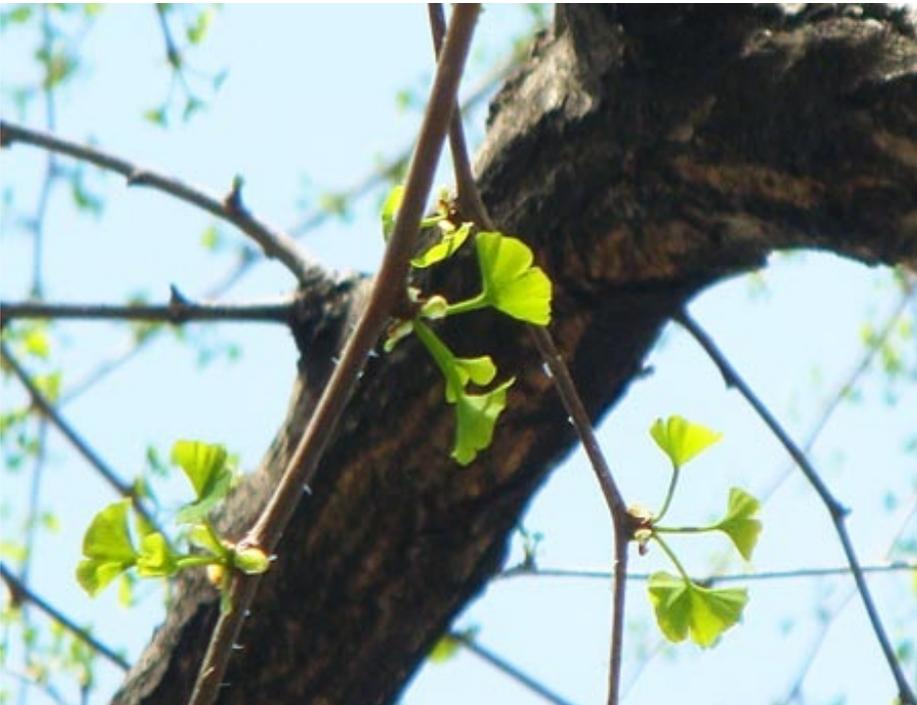
さて、初夏の気配、晴れた日曜日。
ちょっと見るものがある、電車に乗って街の方へ。

あみねこたちに声をかけたら、「行くっ！」。



駅までの道に、こいのぼり。
この吊るし方では、洗濯物だ。

電車で、ゴトゴト。
流れる風景が、春の色。



銀杏にも新芽。ちっちゃくても、生意気にちゃんと銀杏の葉のかたちなのだ。

さ、電車に乗るよ、我が中央線。

ちょっと寄り道、街の花屋さん。

都会の花屋はアーティフィシャル・ゴージャス！



なんで青い世界なんでしょう。透き通るような水色のひらひら、きれい。



淡いグレイトーンのブーケ。優しい春の世界。

青いののインパクトもすごいけど、自分の部屋に飾るなら、こっちのほうがいいな。

さ、そして御茶ノ水駅。



皆さま正面道路をご覧ください。御茶ノ水橋でございます。



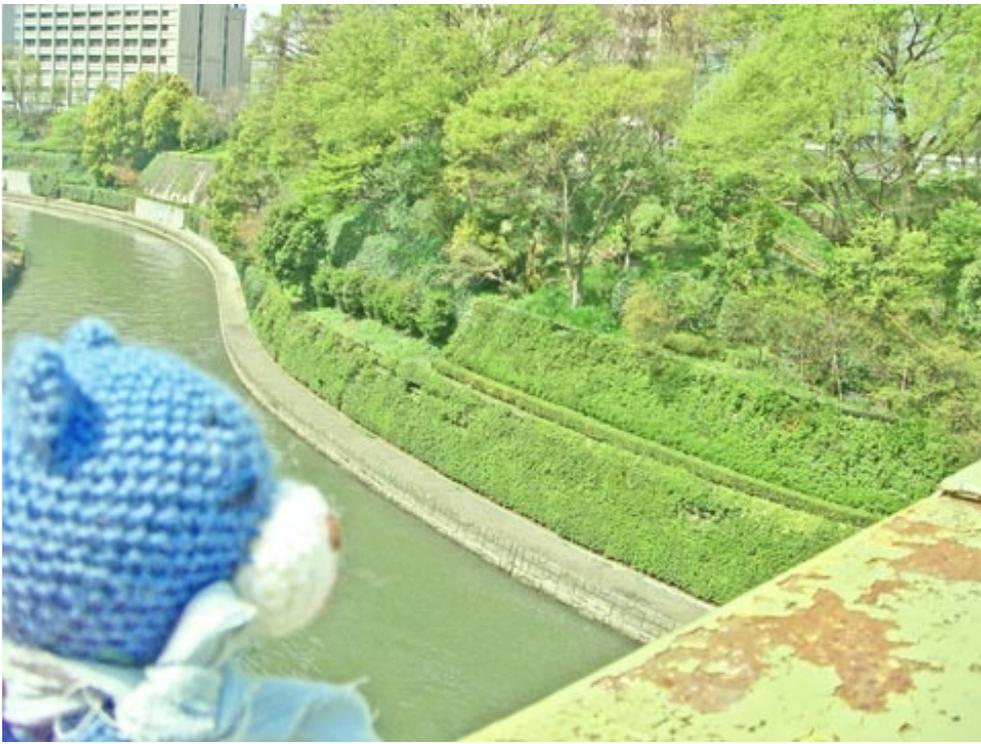
駅挟んで、向こう側に見えるかっこいい橋は、聖橋だ。



お堀の新緑、目に眩くて、そして、優しい。



中央線が走ってるの見下ろす。
視界がはろぼろして、気分がいいよ。



まぶしいのに、目に優しいな、こんな色のタイピンなんか欲しいぞ。



都会ネコー！



「道路渡った方が、聖橋よく見えるね。」

「欄干汚いなあ。」

「掃除はしてあるよ、これは錆びてるんだよ。」



目立たないところに、石碑があるって知ってた？



かっこいい鹿威し。水はどこからどうやってきてるんだろ。

さ、帰り途。...これは何？



「切符や定期やカードチャージしたりする機械だよ。」

「ヲヲ、すごいなあ、これが文明というものか。」



「あのね、今日はね、これが見たかったんだ。」

空いた中央線の車窓から、お堀に沿った桜並木の風景。もう葉桜だけど。

何となく、いろんな思い出がいっぱい押し寄せてくるんだ。」

「ふうん。こんな都会や街が懐かしい風景っていうのも、ちょっと不思議みたいだな。」

「うん。...さあ、疲れたろう、少しおやすみ。ごとなごとな、懐かしい風景の、旅の夢がみられるかもしれないよ。」

あみねこ街に出た。

<http://p.booklog.jp/book/50542>

著者 : yamamomon

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile>

※あみねこの著作権は、ねこやまさんにあります。

この写真絵本は、ねこやまさんの許可を得てyamamomonが制作、発表しているものです。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/50542>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/50542>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのパパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.